

2017年3月
第1回
定例市議会

谷山の”競輪場外車券売り場”開設を業者が断念

～「谷山にギャンブル施設はらない住民の会」の開設中止を求める住民運動が実る～

2014年（平成26年）10月、谷山の南栄5丁目に「競輪場外車券売り場」を開設する計画が明らかとなり、地域住民は、「谷山にギャンブル施設はらない住民の会」を発足し、計画中止を求める市長への署名運動や市議会への陳情に取り組んできました。

たてやま市議は、谷山への公営ギャンブル施設の開設中止を求める立場から、平成26年12月議会、平成28年3月議会で、2度に亘り質問してきました。1051筆の署名が、市長に提出され、市長の見解を求めましたが、森市長は「法的権限はない」とした上で「適切に対応する」と答弁し、態度を明らかにしませんでした。また市議会への陳情は、日本共産党市議団は「採択」を主張しましたが、「継続」となり、市議改選による審議未了で廃案となりました。

その後、たてやま市議は、競輪場外車券売り場の開設計画の動向を注視すると共に、昨年は、競輪場外車券売り場を所管する経済産業省への要請にも取り組みました。このような経過を経て、先の第1回定例市議会における3月6日の個人質疑で、現在の動向を質問したところ、企画財政局長より「本年1月23日、業者から、経済産業省の開設許可がおりる見込みがないため、開設を断念した」との報告を受けたとの答弁がありました。

ギャンブル依存の市民を増やしてはいけない！という市民の運動が、谷山への進出計画を断念させることができ良かったと思います。



競輪場外車券売り場の
予定地であった場所（南栄5丁目）



田村貴昭衆議院議員と共に、
経産省の担当（事前）に要請

ギャンブル依存疑いの市民は 推定23,500人（4.8%）

谷山への「公営ギャンブル施設」の進出は阻止することができましたが、天文館には、既に「競馬・競輪・競艇」の3つの場外車券売り場施設があり、年間29万人の入場客があり、その売上額は、約49億円です。この売上から、環境整備交付金として3853万円が、市に入金されていますが、ギャンブル依存対策に使われていないことが質疑で明らかになりました。たてやま市議は、ギャンブル依存の相談体制を強化することを求め、3つの場外車券売り場施設に、ギャンブル依存の相談資料の設置を提案しました。健康福祉局長から「検討する」との答弁がありました。

ギャンブル依存についてご相談ください！
☎090-9404-6693 豎山

日本共産党 市議会議員 たてやま清隆

日本共産党市議団ニュース NO249 2017年5月発行
鹿児島市山下町11-1 西別館3F TEL216-1440

